

わいまた NEWS

ロイマタとはニュージーランド先住民のマオリ族
の間で愛と友情の絆を表すお守りの名前です。

第11号

2008年2月10日

【発行】

特定非営利活動法人あい・ぽーとステーション

〒106-0031 東京都港区西麻布 2-24-25-509

TEL 03-6657-8539 FAX 03-3499-8539

E-mail: station@ai-port.jp

URL: <http://www.ai-port.jp>

子育て・家族支援者養成講座事務局

千代田区バックアップ研修

千代田区子育て・家族支援者養成講座修了生を対象にした第八回バックアップ研修が、一月二十三日(水)に十九名の参加者のもと開催されました。

テーマは「古武術で子育て～肩こり・腰痛を予防する抱っこの仕方～」。講師にNHKなどで活躍の介護福祉士 岡田慎一郎先生をお招きして、実際に体を動かしての体験講座。実践的な研修を行なっていました。

筋力を使わずに大きな力を生み出すデモンストレーション。手首を返すということだけで、人を飛ばすように動かしたり、軽々と持ち上げる岡田先生。その極意は、『強く動かさずとする意識が無駄なエネルギーを使っている。手首を返すことで全身の力を効率的に腕に伝達できる』ということですが、実際にやってみると、上手いいったり、いかなかったり。

「現代社会では日常の体の使い方が、筋力を中心とした西洋的なものになっている。明治以前

の日本人は、筋力に頼らない質の高い動きをしていた。日本人の女性も育児や介護に十分な体力は備えている。ただ、その使い方が分かっていない。古武術では、筋力にたよらない、体に負担をかけない動きにより、日本人に適した力をいかに引き出すか、ということの基本にしている。」



ことが出来る。
そのための工夫として、①背中の動きを引き出すこと、②姿勢を工夫すること、③バランスを意識することの三つが大切。具体的には、『抱っこ』のとき、胸をくぼませて背中全体でくるむように抱え、姿勢はジグザグしたやや猫背のスタイルで、赤ちゃんの自分の重心を一致させるとよいとのことでした。

「筋力にたよらない動きは日常生活全般に活用できる。力まかせにならずに全身を使うこと。経験が必要だが、体力を必要としないということと誰にでも可能性のあるということなので、今日体験したことをヒントに、保育の場で活かしていただきたい」と、岡田先生。新鮮な驚きで、体も心も温まる、楽しい研修となりました。

浦安市子育てケアマネージャー

浦安市・子育てケアマネージャー養成集中講義が、二月六日から四回の予定で行なわれていました。先日誕生した二級Ⅰ期生から選抜された五名の方が受講され、来年度、子育てケアマネージャーが誕生します。

初日、浦安市子ども部・大塚久美子部長から「子育て支援のケアマネージャーは自治体ではおそらく初めてのことで、感無量です。それ以上に大事なことは、浦安の子育て環境で、ケアマネージャーが必要であるということです。地域で子育てしていた環境が失われた現在、ケアマネージャーの養成は、行政の仕組みづくりの第一歩であると思っています。三級、二級を受講された方が今回受講されていますが、提出されたレポートに、いろいろな思い、体験、決意がしのばれ、浦安の子育てに力を役立てたいとの思いが伝わってきました。ご自身の人生の経験も合わせて、講座で勉強したことすべてを子育て支援を求めているお母さんたちに伝えて欲しい。」と挨拶があり、算尚行次長から「今回の集中講義、これまでも増して厳しいものになると伺っている。人選に当たってもいろいろ議論があり、五名の方が合格し受講することになった。自信を持って受講されたいと思う。ケアマネージャーとして早く活動したい思いでいっぱいだと思います。その思いを研修にぶつけていただき、新年度から活躍できるようにがんばって欲しい。」とエールをいただきました。子育てケアマネージャーが無事に誕生し、すばらしい活動をしていただける様、私も養成講座事務局も浦安市と協力して、精一杯、努めさせていきたいと思っています。

につけい 子育て支援大賞 受賞

日本経済新聞社が二〇〇六年に創刊百三十周年を記念して創設した「につけい子育て支援大賞」の第二回民間団体・住民グループ部門を、NPO法人あい・ぽーとステーションが受賞しました。その授賞式が、一月二十一日丸の内パレスホテルで行なわれ、本法人から、大日向雅美・新澤誠治の両代表理事と子育てひろばの全スタッフが受賞式に出席いたしました。受賞の挨拶に立った大日向代表理事は「子育て支援には人材養成が欠かせない。しかし、人材養成は地味ながら時間も労力もかかる。行政とNPOの協働、そしてスタッフの献身的な努力あつての本日の受賞であることに感謝したい。これまでも増して、子育て・家族支援への思いを新たに、責任の大きさを感じています。」と挨拶しました。



バックアップ研修のお知らせ

浦安市

第十一回 バックアップ研修

浦安市子育て・家族支援者養成講座三級のバックアップ研修を第Ⅰ期・第Ⅱ期受講修了生を対象に、左記の通り開催致します。是非ご参加ください。

日時：平成二十年二月二十六日（火）

十三時から十四時三十分

場所：浦安市文化会館 三階・大会議室

テーマ：「活動状況報告及び課題解決に向けた助言」

講師：あい・ぽーとステーション代表理事（恵泉女学園

大学大学院教授）大日向 雅美

ご出席の方は浦安市子ども家庭課子育て係（Tel.047-351-1111・FAX047-304-1505）までお申込みください。

千代田区

第九回 バックアップ研修

千代田区子育て・家族支援者養成講座三級のバックアップ研修を第Ⅰ期・第Ⅱ期受講修了生を対象に、左記の通り開催致します。是非ご参加ください。

日時：平成二十年三月十四日（金）

十三時から十五時三十分

場所：西神田児童センター1階・小ホール

テーマ①：千代田区児童館館長と支援者の交流会

テーマ②：「食育について」

講師：NPO法人コミュニティスクール・まちデザイン

理事 近藤 恵津子氏

ご出席の方はNPO法人あい・ぽーとステーション子育て・家族支援者養成講座事務局（Tel.03-6657-8539・FAX03-3460-8039）までお申込みください。

子育て・家族支援者養成講座のお知らせ

札幌市

札幌市子育て・家族支援者養成講座（二級）第Ⅰ期を、左記の通り開講致します。

日時：平成二十年二月二十二日（金）から三月十四日（金）の金曜・

土曜および十六日（日）・十時から十五時四十五分

場所：明治安田生命・厚生年金会館、ボランティア研修センター他

講師：大日向雅美（恵泉女学園大学大学院教授・「あい・ぽーと」

施設長）／新澤誠治（子育てひろば「あい・ぽーと」代表

理事）／汐見稔幸（白梅学園大学学長）ほか地元講師多数

お問い合わせ：札幌市子ども未来局子育て支援部・札幌市子育て支援総合セ

ンター（Tel.011-208-7961）まで

子育て・家族支援ホットニュースコーナー

2007年末に政府が新しい子育て支援策「子どもと家族を応援する日本」重点戦略を策定しました。この重点戦略は従来の総花的な施策の羅列を排し、結婚や子育てに関する人々の希望と現実との乖離の解消を計るために取り組むべき優先課題を明示しているという点で、従来の政策と大きく異なっています。具体的には「働き方の見直し」と「包括的な次世代育成支援の枠組みの構築」を車の両輪に据えた構成をとり、子育てを支える社会的基盤となる現物給付の実現に取り組むことを優先課題としています。とりわけ「包括的な次世代育成支援の枠組みの構築」では、たとえば一時預かりをすべての子ども・子育て家庭に対するサービスとして再構築（一定のサービス水準の普遍化）することが掲げられる等、その担い手となる地域の子育て支援者の養成が課題となることが伺えます。子育て支援は施設整備型から人の養成を重視する方向へと転換期を迎えることになります。地域で活動する人材の養成は十分な蓄積に乏しく、一朝一夕には進まない難しい課題を抱えているのが現状ですが、その意味でも「子育て・家族支援者」の皆様のご活躍が問われる時代となったといえましよう。重点戦略の詳細は内閣府のホームページをご覧ください。



事務局スタッフから



『新年明けましておめでとうございます』旧暦の新年を迎え気持ちも再び新たになるこの頃です（笑）。世界中にはさまざまな風習があり、そしてそれを待ち望む子ども達の笑顔を想像しています。今日も子ども達が笑顔で楽しい時間を過ごすことが出来ますように。そんな子ども達の為に今日も手を差し伸べてくださる皆様の笑顔を想像して笑顔です。（佐藤）

子育てひろば「あい・ぽーと」の門から玄関までの通路にパンジーなど小さな花が咲いています。寒い朝でも健気に咲く可愛い花に、朝の掃除も楽しくなります。小さな存在から喜びを頂けることは、幼子の存在と共通しますね。（榎本）

先日、東京でも久しぶりに雪が降り、辺り一面は銀世界。近所の公園では、キャツキャツと子ども達のはしゃぐ声。色々な顔の可愛い雪だるまも登場し、何気ない場所が、『ミニ展覧会』会場にと様変わり。そのような光景に、一瞬寒さを忘れて、ホッと心が和んだ一時でした。（松本）

岡田慎一郎先生の古武術の研修がとても印象的でした。日常生活でも体の使い方、特に背中筋力を自然に意識するようになりました。朝、あい・ぽーとの園庭の砂場を掘り返す作業をしているのですが、作業がとても楽に感じられるようになり、驚いています。保育の場でも成果があったらいいと思います。（伊藤）